

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュ那加		
○保護者評価実施期間	7年 12月10 日	~	7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	7年 12月 10日	~	7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	8年 1月 23日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	身体をたくさん使った遊びができる。身体を十分に動かして遊べるスペースが確保されていること	運動遊びに使わないおもちゃを整理して活動スペースには置かないようにしている。安心して遊べるように危なそうな箇所には保護クッションを貼ったり遊具の配置に気をつけている。	運動遊具を新しく取り入れて、より運動療育に特化できるようしている。
2	こどもが事業所に通うのを楽しみにしている	・こどもがやりたい遊びを十分にやりきれるように、気持ちに寄り添いながら一緒になって活動を楽しんでいる。・こどもが楽しめるような遊びや活動を日々取り入れている。	・送迎時に保護者ともやり取りをして家庭での様子や興味のあること・今の課題について情報を聞き取るようにしている。スタッフ間で得られた情報を共有して日々の活動内容に活かしている。
3	子どものことを十分に理解し特性に応じた支援をしている。	・研修で子どもの発達や特性について理解し知識を深め、実際の支援に当たっている。・子どもの気持ちを尊重しながら遊びを決めている。・	・園や家庭・関係機関と連携を取りながら、子どものことを多角的に理解できるように努めている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定員や子どもの状態等に対しての職員の配置数	継続的に職員を募集しているがなかなか職員が集まらない。	・事業所の魅力を分かってもらえるような募集内容や方法を検討して十分に職員が配置できるようにする。
2	保護者会の開催などの保護者同士の交流の機会がなかなか持っていない。園との交流や地。域と交流する機会が持っていない	日々の業務に忙しくしていて、なかなかイベントを計画できていない現状がある。	・小規模な会からでも良いので、まずは会を計画してやってみるようとする。その後、定期定な開催や規模を大きくしていけたら良いと考えている。
3	避難訓練開催の情報や子どもの安全を確保するための計画についての情報を保護者に分かりやすく伝えられていない	契約時に情報を伝えするようにしているが、定期的に保護者に伝えることができないので保護者に周知されていない	通信を発行するなど分かりやすい形で定期的に保護者に伝えられるようにしていく。